

## 台風19号の被災地のために

中里・富野・薄市のこども園が義援金を募る

➤ ども園3園が10月28日(月)に社会福祉協議会を訪れ、  
 「台風19号」の災害義援金を同会を通じて寄付しました。

この義援金は、被災地で「困っている人に使ってほしい」「少しでも力になりたい」と思う園児・保護者・職員で募金活動を行って集めたものです。

義援金が手渡されたあとは、3園合同で被災者へ思いが届くよう歌や踊りを披露しました。

この義援金は、青森県共同募金会を通じて被災地に送られます。



## いらっしゃいませ! 将来はどんな仕事を…

すてっぶわくわくフェス開催

いろいろな職業をゲーム感覚で体験できるイベントが、9月29日(日)に総合文化センター「パルナス」で開催されました。

幼児から小学生までを対象に、おままごとの感覚で気軽に職業体験できるこのイベントは、NPO法人子どもネットワーク・すてっぶが主催し、漁師やパン屋さんなど8つの体験コーナーが用意されました。

また、中里中学校の生徒もボランティアとして参加し、各ブースの運営を手伝っていました。

パソコンでプログラミングをした子どもたちは、慣れない動作に苦戦しながらも思い通りの動作になるよう、一生懸命取り組んでいました。



## お仕事ご苦労様です!!

こども園3園が役場を慰問訪問

11月23日が勤労感謝の日であることから、11月8日(金)に中里こども園が役場本庁舎を訪れ、歌と手づくりカレンダーの贈呈をしました。

また、11月15日(金)には薄市こども園と富野こども園も訪れて、歌と記念品が職員らに贈られました。この日園児たちはメバルをかたどったかぶり物で登場して、職員らを驚かせていました。



中里こども園



富野こども園・薄市こども園

## 大地の恵ですくすくと

十三湖ファームが米提供の協定

**園** 児たちの元気な成長を願って、中泊町産の安心・安全で美味しいお米を食べてもらおうと、(株)十三湖ファーム(代表・平山智久)が「こども園こどもりへの主食米の提携に関する協定」を10月28日(月)にこども園こどもりで締結しました。

締結式で平山さんは「これから中泊町産のご飯が昼食に出ます。たくさん食べて元気に大きくなってください」と園児たちへ呼びかけました。



## 将来にわたり活力ある町を維持するため

「中泊町観光ビジョン」策定へ

**地** 域資源の有効活用による観光関連産業の振興、誘客の促進を図るため、「中泊町観光ビジョン」を策定することとなり、10月24日(木)には「中泊町観光ビジョン検討委員会」が、11月14日(木)には「中泊町観光ビジョン策定委員会」の二つの委員会が設置され、それぞれの委員へ委嘱状が濱館町長から手渡されました。

今年7月に青森公立大学と結んだ連携協定をもとに、検討委員会では、町内各イベントや観光資源の課題や活用の方向性を同大の学生を交えた会合で案を作成し、「中泊町観光ビジョン策定委員会」で案の審議が行われます。

策定委員会の委嘱状交付式では濱館町長が、これまで明確な観光戦略がなかったことに触れながら「『選ばれる中泊町』を委員の皆さんと共に作っていきたい」と話しました。



検討委員へ委嘱状交付



策定委員へ委嘱状交付

## 師の背中を追って腕を競う

新岡精弥杯争奪剣道大会

「**仁**王」の異名を持つ旧中里町出身の剣道範士の「**仁**」名を冠した剣道大会が、11月17日(日)に体育センターで開催されました。開会式では、中泊剣友会(会長・成澤清志)の其田彩璃さんが選手宣誓で、正々堂々と戦うことを誓いました。

町内外から約200人の小中学生が集まり、日頃の成果で鍛えた剣の腕を競い合いました。

会場には、選手たちの気合いの声と竹刀が当たる音が響き渡り、熱気のこもった試合が数多く繰り広げられていました。

